

# 平成 26 年度 新発田・北蒲家庭科部 活動報告

部長 猿子 尚子

## 1 研究主題 「家庭科における言語活動の充実について」

### 2 活動の概要

○4月 第1回専門部会

・今年度の研究主題、研究内容等について話し合う。

○6月 第2回専門部会

講演 「家庭科における言語活動の充実について」

講師 県立教育センター 教育支援課企画班 指導主事 佐野由美子様

○10月 研究授業

6年「「バランスのよいお弁当を作ろう」 ～栄養満点！My 弁当作り～

授業者 増田佳子教諭（天王小学校）

指導者 県立教育センター 教育支援課企画班 指導主事 佐野由美子様

### 3 研究の実際

#### (1) 講演「家庭科における言語活動の充実について」

演習で「家庭科における言語活動の充実の取組」実践レポートを持ち寄り、2グループで情報交換をした。次に指導要領の内容(小中高と繰り返しより高度に)・言語活動充実の工夫の内容や「言葉を実感を伴って理解する授業」の具体例の講演があった。

学校で学び、家でやったり聞いたりし、また学校で学ぶサイクルを繰り返し、全体で共有する。生活体験が乏しい子どもたちだからこそやってみてよかった体験をさせ、次の「やってみよう！」につなげる工夫を考えようと授業研の課題がはっきりした。

#### (2) 研究授業 6年「バランスのよいお弁当を作ろう」 ～栄養満点！My 弁当作り～

授業では、4種類の弁当の写真から栄養バランスのとれた弁当をはっきりさせた上で、弁当作りで大切なことをグループで話し合い、発表する言語活動が設定された。弁当作りで大切なことを整理し発表するために、5つのキーワード(栄養バランス・色合い・季節感・おいしさ・自分の思い)を活用し、「発表」を取り入れることで友達の意見から考えを深めさせた。グループでの話し合いや最後の感想発表でも提示されたキーワードを使う姿があり、言語活動の充実をねらった授業にふさわしいものだった。

協議会では、弁当作りに必要なキーワードを示したことは言語活動の充実につながったか、グループの話し合い活動を取り入れたことは弁当作りに大切なことを考える上で有効だったかを中心に話し合われた。キーワードを話し合いの観点にして、前時に各自考えた弁当にアドバイスし合うとよいなど、活発な意見交換がなされた。

### 4 成果と課題

講演の中の演習では、実践レポートをもとに情報交換したことにより、ワークシートを児童と作り上げたり、失敗体験をいかしたりする大切さを実感できた。講演では、数々の実践事例を提示していただきながら、実感を伴って言葉を理解させるとはどういうことかを具体的に学ぶことができた。

研究授業では、言語活動を充実させるためには、キーワードを話し合いの観点にするなど、話し合いの観点を明確にして自分の考えを、根拠をもって説明できることが大事であることが分かった。

今後も、家庭生活をよりよくしていこうとする実践的な態度を育てるために、言語活動の充実を図りながら、生活に深く結び付いた実践について研修する必要がある。